

業務用冷凍空調機器

第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>

募 集 要 綱

(受講者用)



一般社団法人

日本冷凍空調設備工業連合会

◇第一種冷媒フロン類取扱技術者とは◇

(一社)日本冷凍空調設備工業連合会(以下日設連と略)では、不活性フルオロカーบอนを冷媒とする業務用冷凍空調機器の使用時漏えいを削減するため、(一社)日本冷凍空調工業会制定「冷凍空調機器フルオロカーボン漏えい防止ガイドライン(JRA GL-14)」を基に「業務用冷凍空調機器フルオロカーボン漏えい点検資格者規程」(現「冷媒フロン類取扱技術者規程」)及び「業務用冷凍空調機器フルオロカーボン漏えい点検・修理ガイドライン(JRC GL-01)」を制定しました。(制定日:平成22年10月1日)

冷媒フロン類取扱技術者制度は上記ガイドライン(JRC GL-01)に従い、使用中の機器の漏えい点検を行い、早期に「漏えい」を発見・処置することで、冷凍空調業界の使命として、フロンの漏えいを最小限に抑え、地球温暖化防止への寄与を業界上げて取り組むものです。

また、当該制度は、使用中の業務用冷凍空調機器の漏えいを点検するための資格であり、当該機器所有者の事前打ち合わせから、実際の漏えい点検作業、点検結果の記録、報告までを適切かつ確実に実施する者を日設連が認定するものです。

さらに、フロン排出抑制法の成立(平成25年6月)に伴い、講習内容も今までの「漏えい点検資格者」に「予防保全」を加え、さらに、業務の範囲を「点検」の他に、冷媒フロン類の「回収」や「充填」に広げ、フロン排出抑制法が要求する「知見」が備わった技術者として認定するものです。

フロン排出抑制法では、機器のフロン漏えい点検(定期点検)や機器へのフロンの「充填」を行うには「十分な知見を有する者」が自ら行うか立ち会うこととしており、その「十分な知見を有する者」として、同法の「運用の手引き」には「第一種冷媒フロン類取扱技術者」が示されています。

よって、「第一種冷媒フロン類取扱技術者」には、機器ユーザーやフロン排出抑制法などの社会的な要請から、フロンの漏えい防止を確実に行うための機器の「定期点検」やフロンの「充填」を行う者として、今までよりも高度な技術的知見を有することが求められています。

そのため、一定の技術を持っている有資格者を対象に、さらなる講習・修了考査を実施し、合格することが必要となります。

1. 開催要領

(1) 開催日

2027 年 4 月 23 日 (金)

時間：(6) 講義内容をご確認ください。

場所：機械振興会館

東京都港区芝公園 3-5-8

(2) 申込期間

2027 年 1 月 5 日(火)～2027 年 2 月 22 日(月)消印有効

(3) 対象者

第二種冷媒フロン類取扱技術者で、①、②の対象者

①更新講習未受講で、2027 年 6 月 30 日と 2027 年 12 月 31 日有効期限の技術者

②更新講習を 1 回でも受講した、技術者証の有効期限内の者

(4) 受講資格

第二種冷媒フロン類取扱技術者で、業務用冷凍空調機器の保守サービスの実務経験（3 年以上）を有し、かつ、下記資格の一つ以上を保有していること。（業務用冷凍空調機器 冷媒フロン類取扱技術者制度規程第 13 条、同実施細則）ただし、⑤ウ.に該当する者は、保守サービスの実務経験は不要とする。

①高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械）一種・二種・三種

②冷凍空気調和機器施工技能士 一級・二級

③冷凍空調技士 一種・二種

④冷凍空調工事保安管理者 A 区分・B 区分・C 区分

⑤その他上記資格者と同等以上の知見を有する者と認められた者

ア. 高圧ガス保安協会認定の冷凍装置検査員（旧）

イ. 冷凍空調工事保安管理者に係る保安確認講習修了者

（保安管理者講習の基礎講習と保安確認講習を受講した者は、基礎講習の検定試験に合格していること）

ウ. 高圧ガス製造保安責任者（甲種化学又は機械、乙種化学又は機械、丙種化学）でかつ業務用冷凍空調機器の製造・品質管理業務に 5 年以上従事した者

エ. 高圧ガス製造保安責任者（冷凍機械一種・二種・三種）試験合格者

オ. 冷凍空調技士（一種・二種）試験合格者

(5) 受講期間

第二種冷媒フロン類取扱技術者で、(1) 対象者の受講期間は①、②とする。

①更新講習未受講者は、技術者証有効期限の 1 年前から有効期限までに受講できるものとする。

新規	4 年目(1 年前)	有効期限
二種 有効期限 (5 年)		特例講習受講期間

②更新講習を 1 回でも受講した者は、技術者証の有効期限内であれば、随時受講することができる。

更新 1 回以上 (随時)	有効期限
二種 有効期限 (5 年)	
特例講習受講期間	

(6) 講義内容

13:00～16:20

時間割	講習時間	内 容
13:00～13:05	5	オリエンテーション（あいさつ）
13:05～15:35	150	冷媒フロン類取扱技術者講習テキストの最新情報 フロン排出抑制法のおさらい フロン排出抑制法以外の最新の法律動向 フロン類を用いた冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン *途中10分間の休憩を含む
15:35～15:45	10	休憩
15:45～15:50	5	修了考査についての説明
15:50～16:20	30	修了考査

※修了考査は、二者択一問題 10問。四者択一問題 3問。テキスト・教材類の参照禁止。

2. 申込み要領

(1) 提出書類

1) 受講願書（様式2）

顔写真1葉（縦3cm×横2.4cm、カラー）を貼付
（写真の裏面には必ず氏名をご記入ください）

2) 業務用冷凍空調機器・設備の保守サービス等の実務経歴書（様式1）

3) 受講票（様式3）

顔写真2葉（縦3cm×横2.4cm、カラー）を貼付
（写真の裏面には必ず氏名をご記入ください）

※「顔写真」は、受講願書（様式2）と受講票（様式3）で、同一の顔写真が合計3葉必要になります。

（合格後は、技術者証の顔写真となりますので、出願前6か月以内に撮影したカラー写真（上半身・正面・肩から上・無帽・無背景・枠なし）で鮮明なものをご用意ください。）

4) 添付書類（縮小等により①～③の書類を別のA4用紙に貼付）

① 受講料31,900円（税込み）の振込み控え（写）

② 身分を証明する以下のいずれか1つ

ア. 運転免許証の写し イ. マイナンバーカードの写し（通知カードは不可）
ウ. 住民票の写し

※氏名・生年月日・現住所が確認できるように提出してください。

マスキング方法は【7. 身分を証明する書類について】を参照してください。

③ 受講資格を証明する資格者証等の写し

④ 第二種冷媒フロン類取扱技術者証の写し

紛失等で技術者証の写しが添付できない場合は、技術者証の再発行をお願いします。

再発行はJRECO（電話（03）5733-5311）にご連絡ください。

(2) 申込方法

角2封筒（A4用）に上記の提出書類を折らずに入れ、必ず配達記録が残る方法（書留や特定記録等）で郵送してください。（封筒の前面に、「第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習申込書 在中」と明記してください。）

提出先：〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 301 号室
（一社）日本冷凍空調設備工業連合会

(3) 受講料

31,900円（税込み）

*教材費を含みます。

巻末の「チェックリスト」でご確認のうえ、提出してください。

* 振込手数料は振込人のご負担です。

* 受講料は原則返還しません。ただし、業務用冷凍空調機器冷媒フロン類取扱技術者特例講習規程運営要領第8条第3項に該当する場合は、同運営要領第9条の規定に従い受講料を返還します。

* 領収書の発行を希望する場合は、日設連にお問い合わせください。

(4) 受講料振込先

三菱UFJ銀行 六本木支店 普通口座 0999390

(社)日本冷凍空調設備工業連合会

(5) 受講票の送付について

- ① 受講申込みをされた方には、受講資格及び提出書類により受講審査を行い、受講資格があると認められた者には、受講料の入金確認後、「受講票」(受講者用)を送付します。(原則、受講日の10日前までに送付します)

受講が認められなかった者には、その旨の通知と申込関係書類、審査手数料(2,530円(税込み))と返還に係る費用を差し引いた受講料を返却します。

- ② 受講票と一緒に、講習で使用する「テキスト」を送付します。原則、会社宛に送付します。

(6) 願書等送付先・問い合わせ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 301 号室

(一社)日本冷凍空調設備工業連合会 TEL 03-3435-9411

3. 修了考査の実施

(1) 修了考査

講習の最後に修了考査を実施します。

試験は、二者択一式 10問、四者択一式 3問、計13問です。

試験の際は、テキスト類の参照はできません。

(2) 合否発表

合否の発表については、一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ(www.jarac.or.jp)に、開催場所毎に受講者番号を一定期間公表します。合格者には、「第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習」修了考査試験結果通知書及び第一種冷媒フロン類取扱技術者証を送付します。

合格者は、一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会のホームページ(技術者名簿)に公表されます。公表内容は、技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限です。

(3) 技術者証の交付

合格者には「第一種冷媒フロン類取扱技術者証」を交付します。

技術者証は、特定記録郵便にて、受講願書に記載の現住所に送付しますので、講習会後3か月以内に転居する方は、「転居届」をお近くの郵便局窓口、ポスト投函、インターネット等でご提出ください。

(4) 合格者のデータベース化

修了考査合格者は、第一種冷媒フロン類取扱技術者として、日設連のホームページに公表します。

公表内容は、技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限です。

4. 第一種冷媒フロン類取扱技術者証の更新

(1) 有効期限

第一種冷媒フロン類取扱技術者証の有効期限は、5年間です。

更新をしなければ、有効期限後は、技術者証は無効となります。

(2) 更新

有効期限を延長する場合は、更新手続きをする必要があります。

5. 個人情報保護について

(1) 法令等の遵守

(一社)日本冷凍空調設備工業連合会は、第一種冷媒フロン類取扱技術者の個人情報を取り扱うにあたり、個人情報保護に関する法令等を遵守します。

(2) 利用目的

利用目的は以下のとおりです。

- 1) 第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習申込の受講審査及び個人認証のため
- 2) 第一種冷媒フロン類取扱技術者に対し、冷凍空調工事等に関連した情報提供のため
- 3) 第一種冷媒フロン類取扱技術者の技術証等の再発行、更新講習のため
- 4) 第一種冷媒フロン類取扱技術者制度の推進のために実施する、各種アンケート調査等のため
- 5) 技術者制度のデータベースのため
- 6) 個人情報を統計的に集計・分析し、個人を識別・特定できない形態に加工した統計資料等を作成するため

(3) 適正な個人情報の取得

個人情報を、偽りその他不正の手段で取得することはありません。

(4) 第三者への提供

次の場合を除き、個人情報を第三者に提供することはありません。

- 1) 第一種冷媒フロン類取扱技術者よりあらかじめ同意を得ている会社に提供する場合。
- 2) 法令に基づく場合。
- 3) 人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であって、第一種冷媒フロン類取扱技術者の同意を得ることが困難であるとき。
- 4) 公衆衛生の向上または児童の健全な育成推進のために特に必要がある場合であって、第一種冷媒フロン類取扱技術者の同意を得ることが困難であるとき。
- 5) 国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けた者が法令で定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、第一種冷媒フロン類取扱技術者の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

(5) 安全管理

- 1) 個人情報の漏洩、滅失または毀損の防止その他安全管理のための必要かつ適切な措置を講じます。
- 2) 個人情報を取り扱うにあたっては、個人情報の安全管理が図られるように指導、適切な措置を講じます。
- 3) 個人情報の取扱い全部または一部を委託する場合は、その取扱いを委託された個人情報安全管理が図られるよう、委託を受けた者に対する必要かつ適切な監督を行います。
- 4) 個人情報の取り扱いの苦情については、適切かつ迅速な対応をいたします。

6. 業務用冷凍空調機器冷媒フロン類取扱技術者制度規程（特例講習）運営要領（抜粋）

（講習の申込み）

第6条 講習の申し込みに当たり、申込者は、第3条に規定する書類、規程第13条第1項に規定する資格の写し、第二種冷媒フロン類取扱技術者証の写し、及び身分を証明する書面等を添付し、提出するものとする。

（受講審査等）

第7条 前条により受講の申込みのあった者に対し、次に掲げる基準に適合する者の受講を認める。

- (1) 前条に規定する必要な書類の提出及び適切に記載されていること。
- (2) 第8条に規定する受講料が払い込まれていること。
- 2 前項の審査は、願書及び添付書類により行う。
- 3 願書又は添付書類に不備を認めたときは補正を求め、補正できないとき又は受講の資格を有すると認められないときは、理由を付して、願書その他の書類と受講料を返還する。
- 4 第1項の規定により受講が認められ、かつ受講料の納入が確認されたときは、受講者に対し試験会場、集合場所及び受験番号を記載した受講票を交付する。
- 5 受講票を交付すると同時に、原則、講習で使用するテキストを送付する。
- 6 受講者は、受講票を携行し、テキストを持参しなければならない。

（受講料）

第8条 受講料の額は29,000円（税別）とする。

- 2 受講料の収納方法については、指定する口座に払い込みするものとする。

- 3 既納の受講料は、原則として次に掲げる場合を除き、返還しないものとする。
- (1) 前条の審査の結果、受講資格を満たさないと認められたとき
 - (2) 日設連又は共催者の責に帰すべき事由により講習を受けることができなかったとき
 - (3) 受講者の責によらない事由により講習を受けることができなかったとき
 - (4) 受講申込み後、講習の実施日の3日前までに受講の取り消しの申し出があったとき
- ただし、返還する場合は、受講料から所要の手数料を差し引いた額とする。

(受講料の返還)

第9条 前条第3項に規定する受講料の返還に伴う手数料は以下に規定する。

- (1) 前条第3項(1)の場合は、審査手数料2,300円(税別)と返還に係る費用
- (2) 前条第3項(2)の場合は、0円
- (3) 前条第3項(3)及び(4)の場合は、受講票交付以前においては、(1)の金額。受講票交付後においては、5,700円(税別)と返還に係る費用

(受講票の携行)

第10条 講習を受講する者は、講習当日、必ず受講票を携行しなければならない。忘れた場合は、受講できない場合がある。

(講習事務の業務)

第11条 第5条第1項に規定する主催者、共催者が実施する講習会の事務については、別途定める。

(合否の審査)

第12条 規程第36条に規定する講習認定委員会で行う

(合否の通知)

第13条 合否の判定結果は、修了考査試験結果通知書により本人に通知する。

(不正手段による受講者に対する措置)

第14条 日設連会長は、不正手段によって講習を受けようとし、又は受けた者に対しては、その受講を停止し、若しくは合格の決定を取り消すものとする。

(第一種冷媒フロン類取扱技術者証の交付及び再交付)

第15条 日設連会長は、規程第37条の規定により、合格の基準を満たした者に、第一種冷媒フロン類取扱技術者証(以下「技術者証」という)を交付する。

2 技術者証に次の各号が生じた場合には、申請者の申請により技術者証の再交付をすることができる。

- (1) 氏名を変更したとき
- (2) 技術者証を亡失や汚損、破損したとき

3 第一種冷媒フロン類取扱技術者は、技術者証を前項の理由により再交付を申請する場合は、その理由を記載した技術者証再交付申請書を日設連会長に提出し、技術者証の再交付を受けるものとする。

4 技術者証の再交付申請料は、5,600円(税別)とする。

(内容の変更)

第16条 技術者証及び提出した願書の記載内容に変更がある場合は、速やかに「登録内容変更申請書」により日設連事務局まで届出するものとする。

(有効期限)

第17条 技術者証の有効期限は、交付した日から5年間とする。ただし、技術者証の初回交付の有効期限は、技術者証交付の日から5年経過後の6月30日(技術者証交付の日が1月1日から6月30日の場合)または12月31日(技術者証交付の日が7月1日から12月31日の場合)までとする。この有効期限は、技術者証の表面に記載するものとする。

(秘密の保持)

第18条 講習に携わる全ての者は、職務上知ることのできた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後といえども同様とする。

(書類の保存)

第19条 日設連会長は、講習に関する次の各号に掲げる書類を、講習を実施した日から3年間保存しなければならない。

- (1) 願書及びその添付書類
- (2) 終了した講習の試験問題及び答案用紙

(運営要領の改廃)

第20条 本運営要領の改廃は、冷媒フロン類取扱技術者講習認定委員会の承認を得て行う。

(講習事務の細目)

第21条 講習事務の実施に必要な細目は、別に定める。

7. 身分を証明する書類について

ア. 運転免許証の写し

- ・裏面 住所変更、氏名変更など記載がある場合は裏面も提出
- ・【臓器提供の意思欄】をマスキング

マイナポータルアプリによるマイナ免許証の画像は提出しないでください

イ. マイナンバーカードの写し

- ・表面のみ提出してください
- ・裏面（個人番号）は提出しないでください
- ・【臓器提供の意思欄】をマスキング
- ・目隠し用ケースなどを利用すると、マスキングできます
- ・通知カードは不可とします

ウ. 住民票の写し

- ・個人番号を省略してください
- ・本籍、ほか本人の情報以外を省略してください

8. 5類感染症対策における講習会の開催について

1. 講習会当日について

発熱等の風邪症状がみられる場合は受講を見合わせることを推奨します。状況によっては受講をお断りすることがあります。

2. 講習会の来場及び受講について

マスクの着用は個人で判断してください。

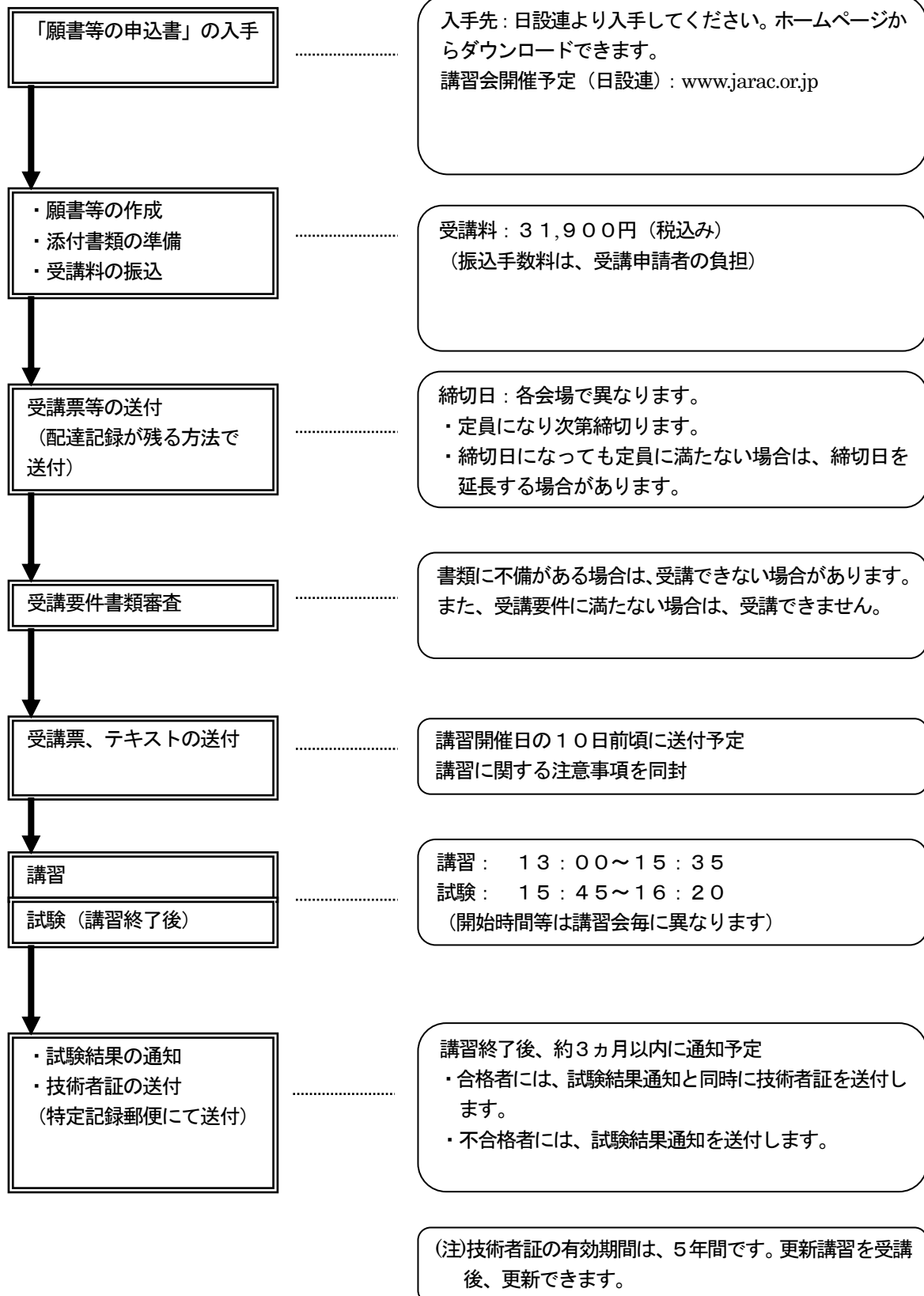
運営のスタッフ及び講師のマスクについても、個人の判断で着脱しています。

手指の消毒・咳エチケットの励行にご協力いただく場合があります。

3. 換気実施に伴う対策について

講習会場では、状況により窓等を開放し自然換気を行う場合があります。そのため、冷暖房効果が損なわれることがありますので、衣服対策等を十分をお願いします。

申込みから合否発表までの流れ



(様式1)

業務用冷凍空調機器・設備の保守サービス等
実 務 経 歴 書
(第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>)

受講申請者の業務用冷凍空調機器・設備の保守サービス等の実務経験について相違ないことを証明します。

年 月 日

証明者

所在地	〒	—
事業所名		
役職名		
氏名		
連絡先		

※証明者は、所属企業の代表者または事業所の責任者、部長等の責任のある立場の方

受講申請者

氏名		生年月日 (西暦)	年 月 日生
勤務先名		証明者との関係	
冷凍空調機器・設備の保守サービス実務経験年数	年	ヶ月	※左記実務経験は3年以上ないと受講できません。 ※⑤ウに該当する者は、保守サービスの実務経験は不要とする。
冷凍空調機器の製造・品質管理業務年数	年	ヶ月	※左記は受講資格が⑤ウの「高圧ガス製造保安責任者(甲種、乙種、丙種化学又は機械)」で受講する方のみご記入下さい。 ※左記の業務年数は5年以上ないと受講できません。

証明者と受講申請者が同一の場合にのみ、この誓約書欄に署名・押印して下さい。 ※本人自署の場合は押印不要

この業務経歴書の記載内容が事実と異なる場合は、登録を取り消されても異存がないことを誓約します。	
氏 名	Ⓜ

当該書面に記載された事項は、第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習の受講・受験に関わる通知、ホームページへの公表(技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限)、更新関係の通知、その他運営上必要な情報管理等以外には本人の承諾なしでは利用いたしません。

(様式1)

業務用冷凍空調機器・設備の保守サービス等

記入例

実務経歴書

(第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>)

受講申請者の業務用冷凍空調機器・設備の保守サービス等の実務経験について相違ないことを証明します。

2023 年 7 月 1 日

証明者

所在地	〒 105 - 0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階
事業所名	日本冷凍空調設備株式会社
役職名	部長
氏名	冷媒 太郎
連絡先	03-3435-9411

※証明者は、所属企業の代表者または事業所の責任者、部長等の責任のある立場の方

受講申請者

氏名	冷凍 次郎	生年月日 (西暦)	1992 年 2 月 29 日生
勤務先名	日本冷凍空調設備株式会社	証明者との関係	社員
冷凍空調機器・設備の保守サービス実務経験年数	3 年 3 ヶ月 (【7. 別表】の訓練施設での訓練年月を含む)	※左記実務経験は3年以上ないと受講できません。 ※⑤ウに該当する者は、保守サービスの実務経験は不要とする。	
冷凍空調機器の製造・品質管理業務年数	年 月	※左記は受講資格が⑤ウの「高圧ガス製造保安責任者(甲種、乙種、丙種化学又は機械)」で受講する方のみご記入下さい。 ※左記の業務年数は5年以上ないと受講できません。	

証明者と受講申請者が同一の場合にのみ、この誓約書欄に署名・押印して下さい。 ※本人自署の場合は押印不要

この業務経歴書の記載内容が事実と異なる場合は、登録を取り消されても異存がないことを誓約します。

氏名		印
----	--	---

当該書面に記載された事項は、第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習の受講・受験に関わる通知、ホームページへの公表(技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限)、更新関係の通知、その他運営上必要な情報管理等以外には本人の承諾なしでは利用いたしません。

業務用冷凍空調機器
第一種冷媒フロン類取扱技術者 ＜特例講習＞
受講願 書

一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 殿

標記講習を受講したいので、関係書類を添えて下記のとおり申し込みます。

写真貼付欄
(カラー写真)タテ3×ヨコ2.4cm
1枚貼付
裏面に氏名記入撮影
年 月
月

ホームページの技術者名簿への掲載

☐希望する ☐希望しない上記、☐に必ずチェックを入れてください。

公表内容は技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限です。

申込日： 年 月 日

受講希望会場	会場名：第 回 会場〔受講日 年 月 日〕
--------	-----------------------

フリガナ		性別	☐ 男 ☐ 女	生年月日	西暦 年 月 日
氏名					

現住所	〒				
	電話 ()		FAX ()		
	E-mail				

フリガナ			
勤務先名			
部署名		役職名	

勤務先住所	〒				
	電話 ()		FAX ()		
	E-mail				

受講資格等 (①～⑤に○) (①～④の該当する種・級・区分にも○) (右記資格者等の写真を添付)	① 高圧ガス製造保安責任者(冷凍機械)(1種・2種・3種)	② 冷凍空気調和機器施工技能士(1級・2級)
	③ 冷凍空調技士(1種・2種)	④ 冷凍空調工事保安管理者(A・B・C)
	⑤ 知見を有する者(アからオに○)	ア. 高圧ガス保安協会認定の冷凍装置検査員
	イ. 冷凍空調工事保安管理者に係る保安確認講習修了者	ウ. 高圧ガス製造保安責任者(甲種・乙種・丙種化学又は機械)
	エ. 高圧ガス製造保安責任者(冷凍機械1種・2種・3種)試験合格者	オ. 冷凍空調技士(1種・2種)試験合格者

注)関係書類は、裏面に記載してあります。必ず添付して下さい。

※これ以下は事務局処理欄

受講番号

講習会番号

受 付

経歴書	経歴確	資格	資格写	振込控	受講票	身分証
	サ	製				

修了考査	合否

当該書面に記載された事項は、第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習の受講・受験に関わる通知、ホームページへの公表(技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限)、更新関係の通知、その他運営上必要な情報管理等以外には本人の承諾なしでは利用いたしません。

様式2(裏)

この願書には、下記の書類を添付して下さい。

- 1) 受講願書(本紙)
- 2) 業務用冷凍空調機器・設備の保守サービス等の実務経歴書(様式1)
- 3) 受講票(様式3)
- 4) 添付書類1 受講料の振り込みの控え(写)
- 5) 添付書類2 身分を証明するもの
(運転免許証の写し、マイナンバーカードの写し(通知カードは不可)、住民票の写しのいずれか1つ)

※氏名・生年月日・現住所が確認できるように提出してください。

募集要綱7. 身分を証明する書類についてを参照

- 6) 添付書類3 各種資格の資格者証、合格証、修了証、登録証等の写し
- 7) 添付書類4 第二種冷媒フロン類取扱技術者証の写し

※4)～7)は別のA4用紙に貼付してください。3つの書類を同一用紙に貼付しても可。

※写真は、裏面に氏名を楷書で丁寧に記入のうえ貼付してください。(撮影後6か月以内のもの)

■ 注意事項

- ①願書等に記入する際は黒ボールペンをご使用下さい。
- ②記入間違いを訂正する場合は、訂正箇所を二重線等で消して下さい。訂正印は不要です。

記入例

第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習> 受講願書

一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会 殿

標記講習を受講したいので、関係書類を添えて下記のとおり申し込みます。

写真貼付欄
(カラー写真)タテ3×ヨコ2.4cm
1枚貼付
裏面に氏名記入撮影
年月
月

ホームページの技術者名簿への掲載

■希望する □希望しない

上記、□に必ずチェックを入れてください。

公表内容は技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限です。

申込日: 2022 年 2 月 1 日

受講希望会場	会場名: 第 4649 回 東京 会場 [受講日 2022 年 4 月 1 日]
--------	--

ふりがな	れいとう じろう	性別	☒ 男 ☐ 女	生年月日	1990 年 2 月 29 日
氏名	冷凍 次郎				

現住所	〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階
	電話 03 (3435) 9411 FAX 03 (3435) 9413
	E-mail △△△@jarac.or.jp

ふりがな	にほんれいとうくうちようせつびかぶしがいいしゃ		
勤務先名	日本冷凍空調設備株式会社		
部署名	営業部	役職名	係長

勤務先住所	〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-22
	電話 03 (5733) 5311 FAX 03 (5733) 5312
	E-mail △△△@jarac.or.jp

受講資格等 (①～⑤に○) (①～④の該当する種・級・区分にも○) (右記資格者等の写真を添付)	① 高圧ガス製造保安責任者(冷凍機械) (1種・2種・3種) ☒	② 冷凍空気調和機器施工技能士(1級・2級)
	③ 冷凍空調技士(1種・2種) ☒	④ 冷凍空調工事保安管理者(A・B・C)
	⑤ 知見を有する者(アからオに○)	ア. 高圧ガス保安協会認定の冷凍装置検査員
	イ. 冷凍空調工事保安管理者に係る保安確認講習修了者	ウ. 高圧ガス製造保安責任者(甲種・乙種・丙種化学又は機械)
	エ. 高圧ガス製造保安責任者(冷凍機械1種・2種・3種)試験合格者	オ. 冷凍空調技士(1種・2種)試験合格者

注)関係書類は、裏面に記載してあります。必ず添付して下さい。

※これ以下は事務局処理欄

受講番号

講習会番号

受 付

経歴書	経歴確	資格	資格写	振込控	受講票	身分証
サ	製					

修了考査	合否

当該書面に記載された事項は、第一種冷媒フロン類取扱技術者特例取得講習の受講・受験に関わる通知、ホームページへの公表(技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限)、更新関係の通知、その他運営上必要な情報管理等以外には本人の承諾なしでは利用いたしません。

業務用冷凍空調機器
第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>
受講票

受講者用

受講・受験会場	第 回	会 場	
受講開始日	年	月	日

※受講番号	
-------	--

フリガナ	
氏 名	
生年月日	西暦 年 月 日生

写真貼付欄
(カラー写真)

タテ3×ヨコ2.4cm
1枚貼付
裏面に氏名記入

注) 縦3cm×横2.4cmの出願前6か月以内に撮影したカラー写真(上半身・正面・肩から上・無帽・無背景・枠なし)を写真の欄にノリ付けしてください
また、写真の裏面には、氏名を楷書で丁寧に記入願います。

撮影年月日
年 月

※欄は記入しないでください。

当該書面に記載された事項は、第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習の受講・受験に関わる通知、ホームページへの公表(技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限)、更新関係の通知、その他運営上必要な情報管理等以外には本人の承諾なしでは利用いたしません。

業務用冷凍空調機器
第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>
受講票

主催者用

受講・受験会場	第 回	会 場	
受講開始日	年	月	日

※受講番号	
-------	--

フリガナ	
氏 名	
生年月日	西暦 年 月 日生
現住所	〒
電話番号	()
勤務先名	
勤務先住所	〒
電話番号	()

写真貼付欄
(カラー写真)

タテ3×ヨコ2.4cm
1枚貼付
裏面に氏名記入

撮影年月日
年 月

注) 縦3cm×横2.4cmの出願前6か月以内に撮影したカラー写真(上半身・正面・肩から上・無帽・無背景・枠なし)を写真の欄にノリ付けしてください
また、写真の裏面には、氏名を楷書で丁寧に記入願います。

当該書面に記載された事項は、第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習の受講・受験に関わる通知、ホームページへの公表(技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限)、更新関係の通知、その他運営上必要な情報管理等以外には本人の承諾なしでは利用いたしません。

受講票記入要領

- 1) 記入は黒か青字で楷書で丁寧に記入してください
- 2) 数字は算用数字を用い、フリガナはカタカナを用いてください。
- 3) 受講者は※印のある欄を除き、全部記入してください。
- 4) この受講票は、必要事項を記入し、写真を貼付のうえ、受講願書(様式2)と一緒に事務局へ送付してください。
受講番号を記入してご返送します。
- 5) 受講票は、当日必ずご持参ください。当日ご提示されない場合は、受講・受験はできません。

.....

記入例

第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>
受講票

受講・受験会場	第4649回 東京会場	※受講番号	
受講開始日	2022年 4 月 1 日		

ふりがな	れいとう じろう
氏 名	冷凍 次郎
生年月日	西暦 1990 年 2 月 29 日生

写真貼付欄
(カラー写真)タテ3×ヨコ2.4cm
1枚貼付
裏面に氏名記入

注) 縦3cm×横2.4cmの出願前6か月以内に撮影したカラー写真(上半身・正面・肩から上・無帽・無背景・枠なし)を写真の欄にノリ付けしてください
また、写真の裏面には、氏名を楷書で丁寧に記入願います。

撮影年月日
年 月

※欄は記入しないで下さい。

当該書面に記載された事項は、第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習の受講・受験に関わる通知、ホームページへの公表(技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限)、更新関係の通知、その他運営上必要な情報管理等以外には本人の承諾なしでは利用いたしません。

業務用冷凍空調機器
第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>
受講票

受講・受験会場	第4649回 東京会場	※受講番号	
受講開始日	2020年 4 月 1 日		

ふりがな	れいとう じろう
氏 名	冷凍 次郎
生年月日	西暦 1990 年 2 月 29日生
現住所	〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階
電話番号	03 (3435) 9411
勤務先名	日本冷凍空調設備株式会社
勤務先住所	〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-22
電話番号	03 (5733) 5311

写真貼付欄
(カラー写真)タテ3×ヨコ2.4cm
1枚貼付
裏面に氏名記入撮影年月日
年 月

注) 縦3cm×横2.4cmの出願前6か月以内に撮影したカラー写真(上半身・正面・肩から上・無帽・無背景・枠なし)を写真の欄にノリ付けしてください
また、写真の裏面には、氏名を楷書で丁寧に記入願います。

当該書面に記載された事項は、第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習の受講・受験に関わる通知、ホームページへの公表(技術者証番号、氏名、会社名、会社所在地都道府県名、有効期限)、更新関係の通知、その他運営上必要な情報管理等以外には本人の承諾なしでは利用いたしません。

第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>申込みチェックリスト

受講申込みに際し、願書等を送付する前に必ずこのチェックリスト【表裏】でご確認下さい

■ 注意事項 ① 願書等に記入する際は黒ボールペンをご使用ください。 ② 記入間違いを訂正する場合は、訂正箇所を二重線等で消してください。 訂正印は不要です。	
--	--

実務経歴書(様式1)		チェック欄
①	冷凍空調機器・設備の保守サービス実務経験年数は、3年以上ありますか？	
②	受講資格が⑤ウの「高圧ガス製造保安責任者(甲種、乙種、丙種化学又は機械)」の方は、「冷凍空調機器の製造・品質管理業務年数」は5年以上ありますか？	
③	証明者は、所属企業の代表者または事業所の責任者、部長などの責任のある立場の人ですか？	
④	「証明者との関係」は、「社員」や「下請」、「協力会社社員」等、証明者とのつながりを記入していますか。	
⑤	証明者が受講する場合は、一番下の誓約欄に記入、押印(本人自署の場合は押印不要)していますか？(例えば受講者が代表者である場合)	
受講願書(様式2)		
①	写真は、カラーで鮮明なものですか？(試験に合格した場合は、この写真が技術者証に載ります)	
②	受講希望会場名は、当該講習会と同じですか？	
③	該当する受講資格に○印していますか？	
④	③の受講資格の該当する「種・級・区分」にも○印していますか？	
	1)「高圧ガス製造保安責任者」、「冷凍空調技士」は、試験合格者でも可 2)「冷凍空気調和機器施工技能士」は、「技能検定合格証書」(技能士カード・手帳も可)の写し、または発行機関名、技能士番号が明記されていれば「合格通知」でも可 3)「冷凍空調工事保安管理者」は、保安確認講習修了証でも可	
⑤	該当する資格の証明書の写しを添付していますか？	
⑥	氏名・生年月日・現住所が確認できる身分を証明するものの写しを添付しましたか？	
	1) 身分証明書は、下記のいずれか1つ。氏名・生年月日・現住所が確認できるもの。 ①運転免許証の写し ②マイナンバーカードの写し(通知カードは不可) ③住民票の写し	
⑦	受講料の振り込みの控え(写し)を添付しましたか？	
⑧	振込先は、間違っていないですか？	
⑨	第二種冷媒フロン類取扱技術者証の写しは添付しましたか？	
受講票(様式3)		
①	写真を2枚貼付していますか？	
②	写真は鮮明ですか？	
③	受講票の裏面は確認しましたか？	

260401

※申請関係書類に、記入漏れや不備がある場合は、受講申込みを受け付けしない場合があります。

第一種冷媒フロン類取扱技術者<特例講習>申込みチェックリスト

<提出書類:ご郵送の前に、もう一度ご確認ください。(該当欄に☑)>

- ☐ 1) 受講願書(様式2)
(顔写真1葉貼付)
- ☐ 2) 業務用冷凍空調機器・設備の保守サービス等の実務経歴書(様式1)
- ☐ 3) 受講票(様式4)
(顔写真2葉を貼付)
- ☐ 4) 添付書類1 受講料の振込み控え(写)(A4用紙)
- ☐ 5) 添付書類2 身分を証明する書類(A4用紙)
(運転免許証の写し、マイナンバーカードの写し(通知カードは不可)、住民票の写し)
- ☐ 6) 添付書類3 受講資格を証明する資格者証等の写し(A4用紙)
- ☐ 7) 添付書類4 第二種冷媒フロン類取扱技術者証の写し

※4)～7)はA4用紙に貼付してください。4つの書類を同一用紙に貼付しても可。

封筒の前面に、「第一種冷媒フロン類取扱技術者特例講習申込書在中」と明記の配達記録が残る方法(書留や特定記録等)で郵送して下さい。

